

令和2年9月15日

## 取組方針

北陸鑄材株式会社は、鑄物業界で使用する中子（砂型）を製造販売しています。緑豊かな自然を守るため環境保全が人類共通の課題であることを認識し、企業活動の側面で継続的に地域社会の発展と環境保全活動に努めます。これに基づき行動指針を定め継続的な環境経営を行います。

- ① 環境に配慮した生産活動を中心に生産性の向上、不良率の削減など環境経営の継続的改善を行います。
- ② 二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、排水量等の削減に努めます。
- ③ 環境関連法規等を遵守します。
- ④ 環境経営方針を従業員に周知します。

令和2年9月15日

北陸鑄材株式会社

代表取締役社長 荒井義則

## ■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を低減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

目標一1	二酸化炭素の総排出量を、R1年 を基準として R3年 までに2%削減する
具体的な取組	(事業所または工場・施設での取組) ① 使用しない電灯は消す。 ② 必要のない電灯は外す。 ③ スポットクーラーのフィルターを1週間に1回掃除する。 ④ スポットクーラー、扇風機を使用しない時はこまめに切る。 ⑤ エアコンの設定温度を28℃にする。 ⑥ 照明はLEDに順次取替えていく。 ⑦ トラック給油時毎の燃費の確認と定期点検の実施。 ⑧ 操業終了時は電源を元から切る。

目標一2	廃棄物の総排出量を削減し、出来るだけ資源にする。
具体的な取組	(事業所または工場・施設での取組) ① ゴミは分別する(金属、プラ、ペットボトル、可燃ごみ、埋め立てごみ) ② 使用済み段ボール、梱包材、荷造りひもを分別する。 ③ 使用済み砂を分別し、再生用砂として回収してもらう。 ④ 納品時は通い箱を使用する。

目標一3	水の総使用量を R1年 を基準として R3年 までに 2%に削減する。
具体的な取組	<p>(事業所または工場・施設での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 生産工程での水利用について効率的な利用に取り組む</li> <li>② 水道配管からの漏水を定期的に点検する</li> <li>③ 社員に節水を心がけるよう啓発する</li> </ul>

目標一4	紙の総使用量をできる限り削減する。
具体的な取組	<p>(事業所または工場・施設での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① コピーは両面を使用する。</li> <li>② ダイレクトメールの裏面を使用する。</li> <li>③ 電子情報機器の利用により、ペーパーレス化を進める。</li> <li>④ コピー用紙、印刷物は再生紙を使用する</li> </ul>

目標一5	社内の取組体制構築、環境保全に関する地域社会への貢献活動の推進
具体的な取組	<p>(事業所または工場・施設での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 社長が毎週、取組状況を確認する。</li> <li>② 社員に環境に対する教育を行う。</li> <li>③ 会社周辺の清掃と緑化を行う。</li> </ul>

#### ■ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、総務課長（環境管理責任者）を委員長とする環境推進委員会を設け、全従業員が「具体的な取組」を実行します。